

個々の問題の出題の意図及びその正答率

理科 小学校 第5学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		科学的な思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解	
A 生物とその環境	①	1	1	発芽の条件を調べるために比較すべき実験方法を考えることができる。	○			66.6
		2	2	肥料のあるなしにかかわらずマメが発芽することから、発芽するために肥料は必要ないことを考え、説明することができる。	○			72.7
		3	3	種子が空気に触れないようにするための実験方法が身についている。		○		53.6
	②	1	4	インゲンマメの種子の発芽後の変化の様子が分かっている。			○	77.2
		2	5	種子と発芽後の子葉を比べ、養分のあるなしをヨウ素液を使った実験での色の変化と結びつけて考えることができる。	○			66.4
		3	6	実験結果から、種子の中の養分が発芽のために使われていると考えることができる。	○			37.3
	③	1	7	花粉のはたらきを調べる実験方法が身についている。		○		88.1
		2	8	めばなに花粉をつけたものとつけていないものの変化が分かっている。			○	88.7
		3(1)	9	顕微鏡の使い方の手順が身についている。		○		25.4
		3(2)	10	顕微鏡の安全で正しい使い方が身についている。		○		62.4
	④ 選択	A	11	メダカの卵の様子の変化が分かっている。 お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子の変化が分かっている。			○	95.1
		B	12	メダカは、卵から養分をとり入れて成長することが分かっている。 赤ちゃんは「へそのお」から養分をとり入れて成長することが分かっている。			○	93.5
	B 物質とエネルギー	⑤	1	13	てこを用いたときの手ごたえについて分かっている。			○
2			14	てこを使った実験で、変える条件と一定にする条件を考慮して考えることができる。	○			53.4
3		15	支点から仕事をする位置までの距離を変えると、手ごたえが変わることを説明することができる。	○			66.4	
4		16	てこがつりあうときのきまりを使って考えることができる。	○			89.5	
5		17	身の回りでのこのはたらきを使った道具について分かっている。			○	94.2	
C 地球と宇宙	⑥	1	18	気温を測るための正しい方法が身についている。		○		76.1
		2	19	気温の測定結果のグラフへの表し方が身についている。		○		78.3
		3	20	1日の気温の変化の記録と天気に関連づけて考えることができる。	○			88.0
		4	21	1日の気温の変化と天気に関連づけて説明することができる。	○			82.1
	⑦	1	22	川の曲がっている場所で外側がけずられることが分かっている。			○	77.4
		2	23	観察結果から、川の流れる速さが曲がっているところの外側と内側とで、水の流れる速さがちがうことを考えることができる。	○			75.2
		3	24	水の流れる速さのちがいを調べる方法が身についている。		○		36.9
		4	25	川の中に入れられたコンクリートのブロックの目的を防災と関連させて考えることができる。	○			89.7